

もとす小規模授産所 ほたる

ほたる授産所では、働く喜び、生きがい、自活に必要な訓練を行うことを目的とし、みんなで頑張っています。

お仕事が大変な時もあるけど、みんなで力を合わせてがんばっています。



「ほたる」には、こんなことをしています。紙袋の下請け作業(組み立て)のり付け(ひも通し)を仕事としています。

こんな学習をしています。

①社会経済活動参加のための学習

様々な作業を体験することで、働くことの厳しさ、仕事に対する責任や、やりがいを見つけると共に仲間同士の協力の大切さを学んでいます。作業内容は下請け委託、除草作業、自主製品づくり畑や花壇づくりにがんばっています。

②社会生活の学習

ほたるでの日常生活を通して、自立できる力を身につけていく。生活習慣の学習(健康管理、家事・家庭管理、金銭貴重品管理等)社会参加のための学習(社会ルールを理解し守る、交通機関の利用、趣味・余暇活動)

学習



やきさんおいしい!?
たくさん食べてね



研修

社会参加のための訓練としてほたるのみんなで日帰り研修旅行に出かけました。

「障がいがあってもなくても」同じように生きていきたい。本巢市にしっかり根をはって、地域の中であたりまえの生活がしたい。皆と一緒に生きていけるようにと、ひとりひとりが毎日頑張って生活をしています。皆さまのお力をお借りしながら充実した生活ができることを願っています。



議会だより編集特別委員会

◎三島 智恵子
若原 敏郎

◎村瀬 明義
長谷川 勝彦

川村 高司
吉田 建夫

鵜飼 静雄
国井 博

3月議会ひらかれる P 2

国に対する意見書 P 2

25議員が一般質問に立つ... P 3

委員会活動..... P16

17年度予算決まる P20

もとす小規模授産所「ほたる」P24

Q&A 3月定例議会 25議員が一般質問に立つ

Q ハイツ集会所の改修をいま、高齢化の中で、宝珠ハイツも60歳以上が数年で500名を突破します。全員で懇親会を開こうとしても100名でいっぱい。なんとか集会所の改築ができないでしょうか。

A 第2公民館建設で

内藤・市長

高齢者の福祉拠点を市内3カ所中心に、「もとバス」によって利用しやすいよう考えています。また高齢者に適した住宅改善を推進しています。

「質問の「仮称老人憩の家」の建設は予定していません。しかし、宝珠ハイツの第2の公民館ということであれば市の補助制度を活用して進めて頂けたらと思います。

本巢市の高齢化率は年々高くなっており、2月末現在で65歳以上の高齢者は6797人、高齢化率は19.3%で、昨年の2月末と比較しますと65歳以上の方は195人増加し、



稲葉 信春 議員

0.4ポイント上昇しており、地域の高齢者がいつまでも元気で暮らせる町づくりを今後とも進めていきます。

その他の質問
「AED救命マシンの取り付けについて」

■宝珠ハイツ今後の60歳以上の人口予測

生まれ年度	60歳以上(合計)	
	増加	合計
H17年/2/15現在		256人
H17年度	S20年	22人
H18年度	S21年	20人
H19年度	S22年	48人
H20年度	S23年	47人
H21年度	S24年	60人
H22年度	S25年	49人

3月議会 ひらかれる



3月8日～29日、平成17年第1回議会定例会を開き、人事1、条例の制定3、条例改正12、規約・協議5、16年度補正予算5、17年度予算7、道路認定・廃止1を審議、決定しました。又、意見書1件を採択して関係機関に送り、教育関係の意見書2件は廃案にしました。

議員提案による意見書を採択

障がい者自立支援給付法案の改正を求める意見書

政府は障がい者が福祉サービスを利用する際、一割負担を求めることなどを盛り込んだ「障がい者自立支援給付法案」を国会に提出した。

5年前、自分でサービスを選択できて、しかも、負担は所得水準に応じた(応能負担)の考え方で「支援費制度」を導入したが、今

用するサービス量が増えるほど自己負担を高くしていく方式(応益負担)に切り替えようとしている。

1、利用者の負担増を招く応益負担制度(利用料定率負担)の導入、公費負担医療制度の見直し)を実施しないこと。

2つの意見書を不採択

(賛成少数) 主な理由(国会審議中のため)

30人以下少人数学級の実現を求める意見書

学級規模を小さくし、子どもと教師との間をより密接な関係にし意思疎通を図り、行き届いた教育を進めることが必要である。そのためには、少人数学級の実現が緊急の課題となっている。

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

教育の機会均等とその水準の

維持向上を図るためには、憲法にもあるように義務教育は無償で、どの子にも豊かで健やかに学ぶ機会が保障されなければならない。そのためには、国の責任での充実が図られるべきである。

国・地方財政の三位一体改革に関する協議会で暫定とはいえ、8500億円を地方に税源移譲の内容に組み込まれた。



園部 隆雄 議員

Q 郷土偉人を教材に 市内の小中学校の外部からの不法侵入者に対する安全対策はどうですか。また市内の郷土偉人を小中学校の教材に取り入れ、郷土に対する誇りを持つようにしてはどうですか。そして、学校教師の精神面と徳育についてカリキュラムを作り、強化をはかってはどうか。

A 子どもたちの夢の原動力に

高橋・教育長

安全対策のため、登下校時の「ふれあいサポーター」の配置、安全マニュアルの徹底、集団による登下校の実施により、子ども自ら身を守るための指導を継続します。地域で子どもを守る体制を作り警察とも連携をとっています。

地域の偉人を取り込んだ教育活動は古田織部について、本巢小・中学校で茶碗づくり、真桑小学校では福田源七郎を称えた真桑人形浄瑠璃についての総合学習、高木貞治博士

園部 隆雄 議員

に関しては、算数・数学甲子園の取り組みもされています。子どもたちが、郷土の偉人を学習し、将来への夢やあこがれを抱く原動力として大切にします。

指導する教職員こそが人間尊重の精神あふれた魅力ある人物でなければなりません。

Q 住友大阪セメントの火災防止を 爆発事故の原因、経過はどうですか。爆発でのカドミウム飛散はなかったか。今後爆発・火災が発生しないようどんな対策を実施しますか。

A 再発防止の報告が

高木・助役

石炭の自然発熱で大量の可燃ガスが発生し、引火爆発と推測されます。

石炭にカドミウム成分はなく飛散はありません。

4点の再発防止の報告を受けています。

その他の質問
本巢市の文化祭と公共施設について
市が管理する「もとバス」について



川村 高司 議員

◎授産所事業の援助を

本巢市の授産所事業の経営内容はどうなっていますか。また授産所事業の「商品」についての検討と、市行政の利用について。そして授産所福祉工場的な検討をどうするか。

◎製品利用で支援します

中村・健康福祉部長

3カ所で所生31人が自立にむけての作業を行っています。ハンガーのウレタン付け、ドライフラワー、ゴキブリ団子（薬事法の関係で販売は保留）などを取り組んでいます。非常に低い賃金となっています。市職員の胸の名刺は施設の製品です。行政として製品の利用支援をします。

◎根尾能装束の里帰りを

地域には有数の文化財があるが、市民として知らないものもあります。根尾の能装束も外部で展示され、鑑賞できません。一度里帰りを計画してはどうか。また高木貞治博



堀 守 議員

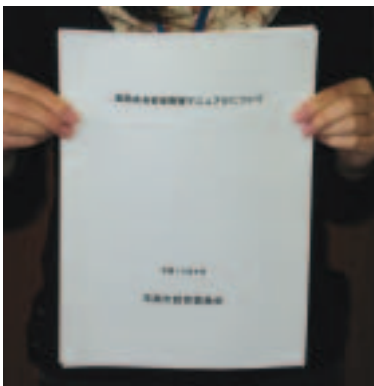
◎小・中学校、幼稚園、保育所の不審者対策は

①避難、保護等のマニュアルは
②各学校での不審者予防、避難訓練は
③周囲の人々の協力を呼びかける考えは

◎今後安心・安全な街づくりを推進します

高橋・教育長

①市内のすべての幼稚園、小中学校には不審者対策の安全管理マニュアルが、整備されています。昨年教育委員会より実効ある安全管理マニュアルを配布し、園や学校の安全管理を見直し、安全な対策を講じています。②マニュアルに即した子供達への指導と教職員の安全管理対策などを受けて、警察やPTAと連携した訓練をしています。③PTAと連携をして保護者や地域の方に、子供達の安全を守るよう現在も啓発を続けていますし、今後も



地域社会や家庭の協力を得て安心・安全な街づくりの推進に努めます。



大熊 和久子 議員

◎次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画策定は

中村・健康福祉部長

計画は新市建設計画を踏まえて、どのような視点で、基本理念と現実に向けた基本目標を掲げられますか。行政の施策について、意思決定する前に市民参画の手段として、パブリックコメントを採用する考えがありますか。

◎行動計画策定委員会の中に、市民の考えの取り込みをします

中村・健康福祉部長

次世代地域行動計画策定委員会を15名の委員で設置し6回の会合をおこなって、現状と課題・施策について協議を進めています。その中で基本理念・基本施策について協議し市民への啓蒙を図ります。市民参画についてはアンケート・ワークショップ等を行い意見集約を行って意見を聞けるよう努めました。

◎都築紡績工場跡地の公共施設への活用と保育対策は

内藤・市長

国は就学前の教育と保育を一体とした総合施設モデル事業をスタートしますが、本市として名乗りを挙げる考えは。予算では利用計画策定経費も計上されているが、計画に盛り込まれる幼稚園の統合施設はどのようなものですか。

◎幼児園総合施設モデル事業として設置します

内藤・市長

「総合施設モデル事業」が受けられるよう、県へ計画書を提出しました。計画は幼稚園と保育所が互いの良さを機能を補い合う事により幼児教育の充実及び保育サービスの向上を目指した制度を求めています。市は跡地に幼児園統合施設の建設を予定しています。これをモデルによりよい幼児教育のための施設のあり方を検討して行きます。



大西 徳三郎 議員

◎商業集積地に対する施策は

内藤・市長

購買客数1千万人を超えるリオワールド・リバーサイドモールを中心とした商業集積地は、本巢市にとって多大の税収・人口増・安定した就業など大きく寄与しています。リバーサイドモールの増床計画に、どのような施策を。

◎開発に対し協力及び適切な指導をします

内藤・市長

リバーサイドモールは、他に競合しないアイデアにより、アミューズメント、寺院モールの新築される予定です。開発に於ける事前協議や本協議がスムーズに進むよう関係機関と連携を取りつつ協力をしていきます。

農地転用や道路網の整備、環境保全、青少年対策等十分協議し適切な指導をします。

◎市民の税金のペイオフ対策は

守屋・収入役

金融機関が破綻した場合は1千万円以上の預金の保証がなくなり。市民の税金等の公金の保護は。

◎他の自治体と連携を密にし国、県の動向を踏まえ検討していきます

守屋・収入役

2月末の預金額は約81億円で、これを7つの収納代理機関等で63億円を定期預金に、残りを普通預金で管理しています。ペイオフ解禁後の公金保護は自己選択、決定、責任が求められますので、的確な情報収集に努め、最善の対応策を検討していきます。

Q 名鉄指斐線の廃線後は
A 跡地の安全確保を図ります
 高橋・企画部長
 線路・鉄橋・駅舎は立ち入れないように廃止日に遮断等警察・名鉄などと安全対策を講じます。鉄道敷地内の除草

Q 都築紡績跡地の問題で
 ①本市の規模に大型商業施設が2店、両立できるか。
 ②事業施工者のメリットは。
 ③付近の渋滞は、根尾・本巢地区の開発に不利ではないか。
 ④2万坪の購入資金は県の合併支援交付金。効果的な使途といえるのか。
A メガモール進出の機会を本巢市のために活用していきたい
 内藤・市長
 ①自由競争の分野でそれぞれが切磋琢磨されることを願う。
 ②地元の雇用が増進される。
 ③多くの来客に対し本市の宣伝のチャンスととらえたい。
 ④土地取得は少ないチャンスと捕らえた。あとは有効活用を努めていきます。



若原 敏郎 議員

等は、名鉄が責任管理します。

Q 直面する課題に
A 対応できる組織体制
 2人助役制の提案

行政改革への取り組みは独立した組織に担わせることが重要です。既存組織では縦割りの弊害により、成果が望みません。助役の2人制で、1人は県職の知識を生かし、もう1人は地域の住民の声を集約できる、収入役兼務の助役の登用で、三位一体への備えや、行政改革の推進を。

A 行政改革に本腰を入れます

現在、行政改革推進本部を組織し取り組んでいます。17年度からは企画部総合企画課に、行政改革担当2名を専属に配置します。重要課題事業、一般行政運営を助役・収入役との連絡・調整を密にし、地域事情等意見を聞きながら運営します。

「青少年育成市民会議の今後の活動方針は」

その他の質問



長谷川 勝彦 議員

Q 文殊の森への進入
 道路計画は

文殊の森への合併支援道路計画の調査予算が削減されたままですが今後の方針を。公園としての設備及び保全が必要ですが今後の方針は。
A 事業推進に地元
 協力を願いたい
 服部・産業建設部長
 進入道路は、市の重点プロジェクトの一つです。詳細設計は、今年中止しましたが、今後の事業推進に地元の協力をお願いします。公園施設については、現状を調査し管理人等の意見を聞きながら検討していきます。

A 排出抑制、資源として
 再利用し循環型社会の
 形成に向け努力します

一般廃棄物の排出抑制は、住民の自主的な取り組みを促進するとともに、分別収集の推進・廃棄物の再利用により適正な循環の利用に努めます。その上で処分しなければならぬ廃棄物については、安定した適正な最終処分をめざします。

Q 学校に安全対策の為
 テレビモニター等の設置を

父兄・教職員が少しでも安心できる設備にする今後の方針を。
A 順次整備を行っていきます
 高橋・教育長
 学校施設は、堅固な防護壁に囲まれている状況ではありません。6つの小中学校にモニター付のインターホンの設置をしました。さらに3つの学校に設置の予定です。安全管理について地域の皆さんの協力をお願いします。

A 市道は順次整備、関ヶ原
 線は県へ要望していく

主要地方道岐阜・関ヶ原線は順次4車線化へ改良されています。
 リオワールド周辺は既に整備され、現在は軽海地内を改良しています。平成22年頃までに根尾川大橋まで完成の予定です。

Q リバーサイドモール
 周辺の道路整備は

リバーサイドモール北側敷地約一万坪に、高野山真言宗別格本山「八事山興正寺」の分院をコアとした「寺院モール」の建設計画があると聞きました。平成18年10月オープンとのこと。
 とところで、周辺市道信号機の設置してある交差点に右折レーンがありません。土・日曜日は車が渋滞し交通安全面から懸念しています。早急の整備が不可欠と思います。改良計画の見通しは。

市道の中央通りは、現在も歩道の設置・交差点改良等の工事を実施しており、順次整備をしていきます。
 駐車場を含めた周辺市道については、開発事業者との開発協議の中で指導します。



吉村 優 議員



▲天神前住宅西交差点



山田 澄男 議員

Q もとバスの利用状況

新市建設計画の最重要プロジェクトでもあり、安全で便利な公共交通ネットワークの確立をめざす「もとバス」は、誰もが利用することが出来ます。開設からの利用状況は不調と聞いております。今後の運営方法は検討されていますか。

A コース・ダイヤの
 再検討も必要

利用状況については開設以来東・西コースの合計で4045人でした。商業施設への利用者が多いことや、利用者の少ないバス停のことを考慮し、また実証実験の結果を踏まえ、コース・ダイヤの再検討も考えています。

A 爆発事故の
 再発防止を指導

爆発事故については3月4日に事故報告及び事故防止策について報告がありました。爆発事故の消火作業時には石炭が混じった汚水が農業用水路に流れないよう土袋を積んで対処しました。今後も再発防止のため施設・設備の適正な管理と、公害防止協定に基づく環境保全について指導します。

Q 本市は利便性の高い地域に位置し、豊かな自然を有しており、また、活況を呈する明るい話題を考えると、恵まれた環境にあると思います。この環境を維持していくのが今後の課題であり努力であると思います。17年度が本格的スタートの年と言われており、職員も一丸となって自立できる行政体制を目指して邁進していただきたいと考えます。

Q 本巢市の発展に向けた所見を

A 自立できる行政体制を目指して

新谷・参与

本市は利便性の高い地域に位置し、豊かな自然を有しており、また、活況を呈する明るい話題を考えると、恵まれた環境にあると思います。この環境を維持していくのが今後の課題であり努力であると思います。17年度が本格的スタートの年と言われており、職員も一丸となって自立できる行政体制を目指して邁進していただきたいと考えます。

Q 組織の活性化を図ります

内藤・市長

平成17年度からは、都市計画の見直しと地域開発の推進を図るため、産業建設部に次長（技術職）を派遣していただきます。事業計画の策定についての指導、補助事業の推進について、県とのパイプ役として成果を上げていきます。研修に行ってきたから特別昇給をするのではなく、経験を生かした部署へ配置し、組織の活性化等を図っています。

Q 人事交流を活用した効果的な市政運営を

三位一体改革が本格的に進展していく中、自立できる自治体を目指すには、職員の人事交流を通じて、県との連携と信頼関係を構築していくことは、有効な方法だと考えます。三位一体改革に関する市長の評価と心構えを、人事交流に関しその評価と今後の展開、交流後の本市職員の評価・処遇について伺いたい。



遠山 利美 議員



杉山 一郎 議員



Q ホタル公園にトイレの設置は

長さ400mのホタル公園にトイレがありません。ホタルの時期だけでなく、地域老人クラブの人達の奉仕作業でも、トイレのない事に困っています。トイレの設置は出来ませんか。

A 現行どおり仮設で対応

服部・産業建設部長

平成21年頃に、この地域の下水道の供用開始を予定しておりますので、当面は、現行どおり仮設トイレでの対応とし、その後、検討していきたいと考えます。



安藤 重夫 議員



国井 博 議員

Q 五六川の黄金橋改修は

県道美江寺・曾井中島線に架かる黄金橋は、老朽化し6tの重量規制がかけられています。中央橋脚部が両岸橋脚より下がる等危険な構造物となっています。

市として今後、県にどう対処されますか。

A 地元の協力があれば整備を要望していく

内藤・市長

平成11年に改修計画が進められましたが、地元の調整ができず現在に至っています。地元の協力によって、整備要望をしていきます。

Q 市職員研修派遣は

(財)岐阜県市町村研修センターへの派遣は現在何名ですか。本市の将来を担う職員の研修派遣は重要と考えますか。

A 今後、積極的に参加させる

内藤・市長

職場外研修には、階層別に行う一般研修と、専門・実務を行う選択研修があります。平成16年度には前者は19名、後者は18名が受講しています。他に市町村中央職員研修所へ4名、岐阜県広域市町村圏協議会広域研修へ4名です。さらに平成17年度からは県との人事交流として2名を派遣します。今後、積極的に参加させます。

Q 斎場新築計画はありますか

本巢市総合計画のなかで

内藤・市長

新市建設計画における主要施策の「自然に配慮した快適なまちづくり」のなかで斎場建設事業が掲げてあります。総合計画で実施計画を策定し、施設の建設を進めます。



Q 屋根雪下ろしの対応に格差があるが

高齢者世帯等を対象に屋根雪下ろし助成制度の利用者は、シルバー人材センターに依頼しましたが、雪下ろしの出来る人は6名しかいません。今後の対応は。

A 各機関に要請

中村・健康福祉部長

今回の根尾地域の雪下ろし事業への助成金申請は、40件あり、そのうち50%がシルバー人材センターに雪下ろしを依頼されました。豪雪時には災害応援協定に基づき、市内の関係法人にも協力が得られるよう、要請をしていきます。

Q 根尾川の河川整備が必要では

上流では、高尾・水鳥・板所地内等、下流では、神海・木知原・山口地内等に多くの土砂が堆積しています。洪水



▲屋根雪下ろし

A 土砂災害危険区域図等を活用

服部・産業建設部長

土砂災害危険区域図等を活用し、災害のおそれのある区域についての危険の周知、警戒避難態勢の整備、住宅地の新規立地の抑制等、ソフト対策を、県とともに推進したいと考えます。



出村 宏行 議員

職員及び職場の活性化は

行政サービスの質の向上及び行政効率の向上は、どの地方自治体にも問われています。本市では、職員及び職場の活性化の取り組みについて

- ①取り組みの成果は。
②人事に対しての取り入れは。
A 職員の基礎能力向上を図ります

高木・助役

①職務に対する職員の意欲や人事異動の際、本人の希望に関する情報を把握することができたものと考ます。
②人事異動については、一定期間の計画的な、職務経験をさせる「ジョブローテーション」の異動制度を取り入れ、職員の基礎能力向上を図っていきます。



見積書の取扱については、随意契約見積書一覧表に記録し契約者を決定しています。結果の公表については、予定価格が250万円以上のもは公表していますが、随意契約については公表していません。ただし、情報公開の請求があれば、公開を行います。

契約(随意契約)は

本巢市になり、事業の拡大により事業契約件数も、膨大になってきています。管財係で扱う、一括入札以外の随意契約についての流れは。

- A 請求があれば、情報公開を行います

溝口・総務部長

業者選定については、各担当部局で、市内業者を優先に2者以上の選定を行っていただきます。

高橋 秀和 議員



名鉄揖斐線の踏切の改良計画は

根尾川左岸の踏切廃止後の道路改良計画は。

- A 拡幅等による安全の確保に

高木・助役

堤防道路に余剰地もありますが、国土交通省木曾川上流河川事業所との協議も必要となります。関係機関も含めて協議し、拡幅等による安全確保に努めます。

各団体への支援、援助は

補助金の削減に代わる、各団体に対する支援策、援助策が必要と思われま。対応は。

- A 利用しやすい料金に

内藤・市長

各施設使用料を見直し、使用料の統一を図る中で利用しやすい料金に改めました。支援は、市長の判断で出来ることについては、その都度、対処します。

本巢市の農業政策は

広大な農地を持つ、本巢市全域を対象とした土地利用を含めた農業政策を考えてはどうか。



出村 宏行 議員

組織機構改革は

本巢市の公共施設は、現在各部の管理になっていきます。一部課に集約し、施設管理を行ってはどうですか。

- A 効率的な管理が必要

高木・助役

施設管理は、行政目的に沿って、効率的に管理する必要があります。

今後とも行政財産は各担当部局、普通財産は財政課で管理していきます。



▲耐震補強をした席田小学校体育館

耐震補強は早期実施を

公共施設の耐震診断の必要性は大きい。

また、避難所の関係もあり、早期実施が出来ませんか。

- A 毎年2カ所を耐震診断

高木・助役

耐震診断が必要と認められる施設で、28カ所が避難所になっております。耐震補強の施設は4カ所、基準に適合している施設は、3カ所です。学校については、平成17年度から毎年、2カ所の耐震診断を計画しています。その他の施設についても、耐震診断計画を策定していきます。



三島 智恵子 議員



老人福祉の充実

介護サービスの利用が制限され利用料が上がる一方、保険料のアップも予測されます。制度改善をしないよう国に働きかけること、市独自の対策が必要です。

- ①保険料・利用料の減免措置
②グループホームの適正な職員配置の指導
③老人クラブへの支援について

内藤・市長

①保険給付費が13年度と比べて13.2%と増えており、市独自では困難です。
②もとす広域連合で指導します。
③事務局職員を配置。更に、自立に向けた組織として活動されるような支援は継続します。国にはこれまでも意見を言ってきましたが、今後も続けます。

国への働きかけはつづける

合併しないほうが良かったといわれたいために

市政について理解と協力を求めるには、市民への説明ときめ細かい対応が欠かせません。

合併しないほうが良かったといわれたいために

合併しないほうが良かったといわれたいために

合併協議のすり合わせ事項は調整しながらすすめる

内藤・市長

①16年度の経常収支比率は85%と予想され、経費の大幅な削減が必要です。補助金カットはその方策の一つです。各種団体にご理解をいただくよう、引き続きお願いしていきます。

施設管理を効率的に

建物・設備などの保守点検や管理の多くを、外部に委託しています。

合併のメリットの一つとして「専門職が配置できる」と市職員で対応できる部分はあります。

専門的な知識・技術・資格が必要なので無理

専門的な知識・技術・資格が必要なので無理

Q 神海自治会内の
広大な土地の今後は

神海地区内に、農地が1万㎡、雑草地・原野約6万4千㎡と
言う土地が、管理もされな
い荒地として、30年以上も
放置されています。土地が有
効利用され、地域の環境整備
される事を望んでいます。市
として地権者にどのように指
導されますか。

A 活用の検討を考えている

高橋・企画部長

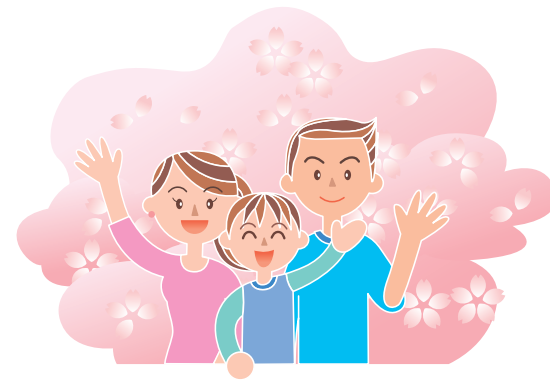
神海地区内の大宗農場跡地約
9haは、日本巣町の時から工
場用地として検討し、農村地
域工業等導入地域の指定を受
け、農業と工業等との均衡あ
る発展を図るよう努めてきた
ところです。

企業進出に伴う問い合わせ
は幾社かありましたが、合意
に至らず、土地が荒廃してい
る状況です。

どのような活用が適切であ
るか検討したいと考えていま
す。



▲大宗農場跡地



浅野 英彦 議員

Q 森林の公益的機能評価し
山林整備の促進を

① 機能評価した森林整備の取
り組み状況と今後の整備状
況は。

② 多種多様な補助や交付金制
度を精査し、最大限活用し
た予算措置は。

Q 森林の公益的機能評価し
山林整備の促進を

服部・産業建設部長

未改良区間については、現
在計画は無いとの揖斐建設事
務所からの回答がありました。
国道157号はもとより、
藤橋〜根尾線についても、今
後も整備促進を図るため、要
望活動を進めます。

Q 市の観光協会の設立は

③ 整備の重要性を山林所有者
に十分理解されるような啓
蒙活動の予算措置、また、
事業者への指導は。

A 有効かつ有利な
施策について研究

服部・産業建設部長

① 各種補助・交付金事業で山
林整備を進めており引き続
き進めます。

② 多岐にわたる制度は、県の
指導を受けながら、有効か
つ施策について研究し、取
り組みます。

③ 補助により、所有者負担は
軽減されています。これら
を啓蒙する上においても、
事業者へ指導していきます。

A 商工会合併後に

内藤・市長

市域の観光資源・交流施設・
特産品のPRを対外的にも広
く進める必要があります。
観光協会の設立の考えは。



宮川 久夫 議員

Q 福祉施設に入所待ちの
高齢者は

先日、テレビのニュースを
見ておりましたら、老人の介
護施設、老人ホーム等に、入
所待ちの方が、全国で30数万
人もおられると云われました。
本市においては何名位の方
が、待ってみえますか。

A 19年度末の施設入所希望
待機者は無くなる想定

中村・健康福祉部長

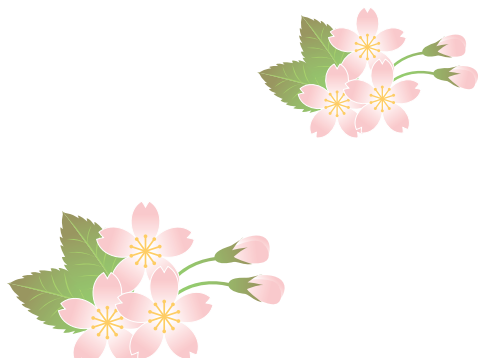
市におきましては、昨年10
月末現在の調査で170名の
利用者がおられます。

居宅での介護が真に困難な
要介護者等に必要介護が出
来ない状況を鑑み、優先的又
は、緊急的な入所できるよう
に、もつと広域連合特別養護
老人ホーム優先入所検討委員
会を設置しています。

七五三に建設中の特別養護
老人ホームが完成すれば、計
画上では19年度末には、待機
者が無くなるものと想定され
ます。



▲七五三地区内の井ノ口会、建設工事現場



道下 和茂 議員

Q 県道藤橋〜根尾線(通称・
徳山街道)の整備促進は

西美濃夢回廊の一路線でも
ある、この路線の整備促進を
図り徳山ダムと組み合わせた
新たな観光ルートでの交流人
口の増加も必要であります。
災害に強い路線の整備促進
の要望について市の考えは。

A 整備推進を要望

Q 17年度特別会計への
繰入金は妥当か

③ 超過繰入れを決定するのは
誰か。

二、国保・老人医療特別会計
へも6億8665万円余が
繰入れられています。基準
範囲内の運用となっていま
すか。

A 安定した事業運営に必要

林・上下水道部長
土川・市民環境部長

一、上・下水道会計は

① 農集排——6086万3千円
公共下水——3296万7千円

② 独立採算とはいえ、下水道
事業は住環境整備という一
般行政と密接な関係があり



竹中 光夫 議員

Q バランスシート
コスト計算書の作成を

ます。下水は小規模のため
維持管理費が多かかりま
す。水道は市内に広く点在
し小規模で老朽施設もあり
ます。繰入れで安定した事
業運営を図っています。

③ 市の判断で議会に提案し、
議決を持って執行します。

二、国保会計―法定繰入1億
8469万円、その他繰入
1億8777万円余です。
その他繰入れは、急激な
負担増を避けるため計画的
に繰入れられるもので、合併協
議で話し合われています。

A 取り組みを検討

溝口・総務部長

資産・負債を厳しく管理し、
住民への説明責任を果たすべ
く、早期に作成すべきでは。

Q 福祉施設に入所待ちの
高齢者は

市におきましては、昨年10
月末現在の調査で170名の
利用者がおられます。

居宅での介護が真に困難な
要介護者等に必要介護が出
来ない状況を鑑み、優先的又
は、緊急的な入所できるよう
に、もつと広域連合特別養護
老人ホーム優先入所検討委員
会を設置しています。

七五三に建設中の特別養護
老人ホームが完成すれば、計
画上では19年度末には、待機
者が無くなるものと想定され
ます。

Q 福祉施設に入所待ちの
高齢者は

市におきましては、昨年10
月末現在の調査で170名の
利用者がおられます。

居宅での介護が真に困難な
要介護者等に必要介護が出
来ない状況を鑑み、優先的又
は、緊急的な入所できるよう
に、もつと広域連合特別養護
老人ホーム優先入所検討委員
会を設置しています。

七五三に建設中の特別養護
老人ホームが完成すれば、計
画上では19年度末には、待機
者が無くなるものと想定され
ます。

Q 本巢中駐車場の経緯は
課題事業にもなっていないのにいきなり予算化されていますが、この間の経緯は。また分譲住宅への転用申請が出ていますが、所有者と業者との関係が

内藤・市長

Q 根尾地域審議会会長の政治活動は問題
A 辞職勧告もふまえ、指導します。

Q 幼・保のあり方は特別な体制で
4地区それぞれの乳幼児保育・教育の方向性を確立するため、プロジェクトなど特別な体制が必要では。

A 総合的に判断プロジェクトも考慮

子どもにとつていずれの形態(二元化、一元化)が一番理想か、施設規模も含め総合的に判断する必要があります。プロジェクトも考慮します。



鵜飼 静雄 議員

白紙になった保証が必要では。
A 日程の調整がつかず遅れ

堀部・教育委員会事務局長

学校行事や体育館の開放時に、今の計画(53台分)では少ないとの意見があり、所有者と話した結果、取得可能と判断しました。日程調整がつかず、議会への話が遅れて申し訳ありません。(白紙にの話は)ご提言を配慮します。

Q ストックヤード建設の見返りはどうか

本巢地域のストックヤード建設に関連して地元公民館用地を提供することですが、それが市の方針なのか、また今後に影響は。

A 旧町村の約束事

高木・助役

旧本巢町と山口自治会が交わした約束の履行です。今後は、地元で理解と納得が得られるよう努力します。



安藤 次郎 議員

Q 西部連絡道路は

平成17年度工事計画予定、どの位進められるか。連絡道路の計画の、北側、関ヶ原線まで、約200mの改良計画は。

A 18年度以降の改良計画

服部・産業建設部長

平成17年度の事業計画は、用地取得をさらに進めるとともに、本年度用地取得がほぼ完了している地区(小柿地区1000m、国道303号線前後)から工事施工の予定となつていきます。

また、市道3018号線(200m)については、平成17年度に測量設計を行い、平成18年度以降の改良計画として考えています。

Q (仮称)南部ふれあい会館は

旧真正町と地元で交わされている公文書の回答は、「地元の皆様の要望を十分に取入れながら、町財政厳しい折ですが、建設を致します。」



と約束されています。今後、建設をどのように進めて頂けますか。

A 誠意と責任を持って対応

内藤・市長

執行部内では所管部も定め、具体的なスケジュール策定に向け準備を進めております。

今後、建設に向けたスケジュールを早期に示しつつ、施設については、地元の要望を可能な限り採り入れながら、市の考え方にも理解を頂き、上下水道部において、誠意と責任を持って対応させます。

Q 合併協議における未調整事項の取り扱いは

本巢市誕生から一年がすぎました。

合併したからすべてが解決するものでなく、行政のスリム化や、事業内容の再検討などによる財政負担の軽減は合併目標のひとつと考えます。

施設の相互利用や同様事業の一元化など、合併協議において新市に調整が任された事項が有りますが、その取り組みは。

A 市民と協働してまちづくりを進めます

内藤・市長

合併協議において「新市において調整する。」とした項目については、本巢市として調整したものは、現在も調整を進めているものもあります。

特にイベントについては、旧町村ごとの市民の垣根を取り払うことや市民としての一体感の醸成など、イベントを行う中で市民と協働したまち

高橋 一 議員

づくりをすすめていく、という姿勢を十分浸透させながら、統合等を進めるべきと考えます。



市民と共に



▲うすすみレセプション根尾中のオカリナ演奏 (4月12日)



▲白山神社の能狂言 (4月13日)

▲日当大橋三代渡初め (3月25日)



市議会には4つの常任委員会があります。
今回は3月23日までの活動の主なものを報告します。

委員会活動

環境福祉 常任委員会 (3月18日)



▲住友大阪セメントを視察する委員

審査付託案件

1. 福祉医療費助成に関する条例の一部改正(69才医療費無料制度の廃止) → 賛成多数

- ・介護保険の負担も増えるので続けてほしい
- ・制度は長い経過がある。合併したので「市らしいことを」と思っている人もあり続けるべき
- ・いつかはやめなければならないから、区切りが必要などの意見あった。

2. 17年度国民健康保険・老人保険医療特別会計予算 → 全員賛成

17年度一般会計予算(審議)

◎ストックヤード整備工事費

4400万円は、上物もふくむのか。

◎環境総合調査委託料は何に使うのか。

- ◎ 7,000㎡の土地造成と、建物の費用。
- ◎ 水質・臭気の調査などを行う。16年度は河川の水質…27、浄化槽放流水…12、工場排水…8、廃棄物処理場排水…3、飲料水水質…2、臭気…9、臨時水質・悪臭…5の調査を実施。

◎「自然応用科学」の悪臭調査は行ったか。地元と話し合いをしたか。

- ◎ ①2回実施。基準以下だった(アンモニア・硫化系)。
- ◎ ②協定が結ばれているがゆるい。改めて、市・企業・自治会を交えて協定をむすぶ。

◎大宗農場跡地の有効利用を市に申し入れてあるが放置のまま。監視員にも厳しく伝えてもらいたいが。

- ◎ 現状では望ましくない。除草の指導はしているが、今後も監視が必要。有効利用は、所有者に働きかける。

◎施設支援費の内訳は。

- ◎ 知的障害…42人、身体障害…10人。(住宅の障がい者は46人)

◎保育園・幼稚園の統一をどう思うか。

- ◎ 国は幼保一元化の方向だから、統一したいと思うが、保護者の理解が先決。

◎井ノ口会特養建設補助金の内訳は。

- ◎ 国 — 1/2、県 — 1/4、市 — 1/4の割合で補助。人口割…43%、財政力割…57%で、16年度3割、17年度7割を負担。

◎「障がい者自立支援給付法案の改正を求める意見書」……委員会提案することを決定。
◎11時～14時まで現地視察(3箇所)を行った。

総務 常任委員会 (3月17日)



▲総務常任委員会風景

審査付託案件

1. 人事行政の運営等の状況に関する条例(職員配置、勤務状況等の公表) → 全員賛成

個人情報保護に配慮するようという意見があり。

2. 部設置条例の一部改正(林業部を新設) → 全員賛成

3. 支所設置条例の一部改正(根尾総合支庁 → 根尾総合支所) → 全員賛成

4. 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 → 全員賛成

5. 支所設置条例の一部改正に伴う関係条例の整備 → 全員賛成

6. 常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 → 賛成多数

一部の職員を条例からはずすこと・報酬の全面引き下げに疑問という意見があった。

17年度一般会計予算(審議)

◎地方交付税算定の根拠は。

- ◎ 普通交付税—国の動向から101%、特別交付税—16年は係数の50%、17年は30%なので減額。

◎防災ハザードマップ作成補助金の基準は。

- ◎ 国・県は1/3の100万円ずつ、市の負担100万円の合計300万円で作成。

◎消防債の内訳は。

- ◎ 防火水槽を5基設置(糸貫1、本巢1、根尾3)。

◎預金の預け先の数と、ペイオフ対策は。

- ◎ 西濃信用金庫と収納代理機関7。自己資本率8%以上を基準としており、半期に一度経営状況を提出させている。

◎市の財政力指数は。

- ◎ 16年度(単年度)0.765、3年平均は0.693。

◎臨時職員の賃金が減った理由は。

- ◎ 職員数の減と単価の見直し。一般会計…昨年比3569万円の減、特別会計…2名減らし250万円の減。

◎ホームページ管理システムリース料とは。

- ◎ これまで企画でまとめて更新していたが、これからは各課で更新できるシステム。

◎自治会活動補助金が減ったわけは。

- ◎ 交付基準を変更した。(1,970円/世帯 → 1,800円/世帯)

◎消防の備品購入費の内訳は。

- ◎ 旧町村ごとに、防災用資材を配備—800万円、有毒ガス検知器…170万円。

◎市議会委員会条例の一部改正(市の、部・支所設置に伴う改正) 委員会提案を決定。
◎13時から現地視察(5箇所)を行った。

委員会活動

文 教 常任委員会 (3月22日)



子どもセンターを視察する委員(左)と
同センターで遊ぶ子どもたち(上)

審査付託案件

- 1. 体育施設条例の一部改正(利用料を基準で統一) → 全員賛成
- 2. 学校体育施設開放条例の一部改正(名称・利用料の変更) → 全員賛成
- 3. 文化財保護条例の一部改正(民俗技術を追加) → 全員賛成

17年度一般会計予算(審議)

◎日本スポーツ振興センターの収支とは何のことか。

- ◎ 学校でのケガなどの保険。在校時・登下校・校長がみとめた部活などが該当。
掛け金 一 小中学生 945円(420円)、幼稚園児 295円(200円)、保育園児 375円(200円)
※1人あたりの金額。()内は保護者負担分。

◎留守家庭児童がふえているが、定員はまわっているか。指導員は「35名以上3名」という条例しかないが、どうするのか。

- ◎ 本巢……19人→31人に、糸貫……24人→49人に、弾正……16人→22人に、真桑……24人→29人になる。
定員は決めていないが、施設等をかんがえて検討する。子どもセンターはもう1部屋使えるが、他の施設は34人以上は無理。

◎幼保の統一について、市長部局で対応せよと提案したが実行しないのか。

- ◎ 職員の研究会で、旧町村の現状把握、長所・短所・問題点などを検討している。
担当職員に任せていてもいけないので、検討委

員会などの対応が必要だと思う。

◎通学路の安全性は、いまは交通面だけでは不十分。再検討しては。

- ◎ 危機感をもって見直す。

◎教育相談の実態は。

総括指導員が核になって、教育相談員を各学校に配置。不登校も1/2に減った。
今後も特別支援体制を整え、きめ細かい支援・教育を行っていく。

◎施設の館長を職員が兼任するなら、条例をかえたら。

- ◎ 基本的には、職員の兼任にしたい。特に土日問題がないか、様子を見ている。

◎インリーダー研修(キャンプ)の実施方法、保護者負担は。

- ◎ 市一本で、支部方式をとって従来の行事を継続している。キャンプは子ども会の代表を集めて実施。負担は500円/人で、400円は支部へバックしている。

その他
 ・「30人以下少人数学級の実現を求める意見書」……賛成少数で不採択
 ・「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」……賛成少数で不採択
 ◎9時～10時20分 現地視察(2箇所)を行った。

産 業 建 設 常任委員会 (3月23日)



▲桜橋歩道橋工事現場を視察する委員

審査付託案件

- 1. 市立公園条例(都市公園は条例が必要なため) → 全員賛成
- 2. 小口融資条例の一部改正 → 全員賛成
- 3. 道路占用料等徴収条例の一部改正 → 全員賛成
- 4. 手数料徴収条例の一部改正 → 全員賛成
- 5. 17年度簡易水道・農業集落排水・公共下水道特別会計予算、水道事業会計予算 → 全員賛成
 ・下水工事の舗装復旧は、業者まかせだと企業毎に異なるのでマニュアル化を。
 ・下水工事の(段階毎の)立会も業者に委託しているのか(A-職員だけで間に合わないときは管理業者に委託)などの意見あった。

17年度一般会計予算(審議)

◎ぎふクリーン農業関係補助の詳細と周知は。

- ◎ 新技術支援……コンコールマルチによる水稲栽培、いちご・梨・柿の天敵導入団体に補助。
流通支援……冷凍米格納庫(法人)、草刈機・トラクター・コンバイン・田植機の導入団体に補助。
担い手関係者、営農組合には、現地に出かけて話し合いをしている。

◎変わりつつある農政、5～6年で完成させねばならない上下水道の職員が少ない。

- ◎ 職員は370人だが、1割カットの予定。今の人員で頑張ってもらわねばならない。

◎除草の委託料がふえた理由、老人クラブ・自治会・ボランティア委託の実態は。

- ◎ 委託料増は1つにまとめたため。老人クラブなどに委託する分は従来どおり。

◎健康で豊かな学校給食支援事業とは何か。

- ◎ 県内産の米、豆、果実を利用すると、県農協中央会・県・市が1/3づつ学校給食会に補助する、地産地消をすすめる事業。

◎西部連絡道の路肩はL型よう壁などに。土端は除草が大変。

- ◎ 県が認める基準で工事する。
- ◎ 断層展望台について、市の立場で論議したか。財源は不均一課税ときいていたが、合併特例債が使われるのはなぜか。

- ◎ 旧根尾村で計画され、合併協儀で教育委員会の立場で提案した。合併時下の順位にあったので、不均一課税を当てることになった。特例債を利用するかどうかは、市当局の判断にまかせてもらうことが了承されている。

◎9時～11時20分 現地視察(5箇所)を行いました。

17年度予算決まる

今議会で決まった主な議案をお知らせします

◎一般会計予算・・・175億6000万円(賛成43、反対3)

主な内容

- 都築紡績跡地に建設予定の大型ショッピングセンター関連事業
 - ・ 周辺の道路、橋の整備事業 11億2620万円
 - ・ 樽見鉄道新駅整備事業 5733万円(注:事業費は開発業者の負担。跡地の開発に関わる協定書・覚書が3月31日、業者と市の間で交わされました。)
- 都築紡績跡地用地取得 2万坪 7億7500万円
 - ↳ 建物解体撤去工事 2億円
- 多目的広場整備(スポーツプラザ糸貫川沿い) 2億1686万円
- スtockヤード整備(本巢地域・山口) 1億4900万円
- 防災行政無線整備 4億3628万円
 (注:3年間の事業で、総額15億6600万円)
- 本巢中学校建設(16,17年度事業) 7億4045万円
 - ↳ 駐車場整備(新体育館南) 7523万円



▲新築なった本巢中学校体育館



経費の削減

- 各種団体への補助金削減 1億7210万円→1億5288万円
 - 16年度の補助金が100万円以上 15%
 - 50万円～100万円 10%
 - 50万円未満 5%
- 非常勤特別職の月額報酬見直し 2億2177万円→2億 66万円
- 日々雇用職員の賃金見直し 2億 434万円→1億6864万円
- 「ほたるまつり」と「げんげ祭り」を統合し、「花と螢祭り」に。



◎国民健康保険特別会計(全員賛成)

国保事業 27億円
診療所関係 3億7800万円
超音波装置、X線テレビシステム等購入

◎老人保健医療特別会計(全員賛成)

32億7000万円(全員賛成)

◎簡易水道特別会計(全員賛成)

3億円(全員賛成)
工事費=約7400万円(根尾、本巢地区)

◎農業集落排水特別会計(全員賛成)

18億1200万円(全員賛成)
工事費=真正地区の約11億円、神海地区の約2.5億円

◎公共下水道特別会計(全員賛成)

6億9400万円(全員賛成)
工事費=約3億円(本巢地区)

◎水道事業会計(全員賛成)

業務予定量

1.給水戸数	6,450戸
2.年間給水量	2,418,700m³
3.一日平均給水量	6,627m³
4.建設改良工事費	約4億6400万円

◎教育委員会委員の任命(全員賛成)

新たに堀部邦雄さん(石原)を教育委員に選ぶもの

◎部設置条例の一部改正(全員賛成)

産業建設部から「林政部」を独立させるもので、根尾総合支所に配置

◎支所設置条例の一部改正(全員賛成)

「根尾総合支庁」を「根尾総合支所」に改めるもの

◎非常勤特別職の報酬・費用弁償条例の一部改正(全員賛成)

報酬の見直しを図るもの

◎福祉医療費助成条例の一部改正(賛成42、反対3)

69歳老人の医療費助成を、県の打ち切りに合わせて廃止するもの

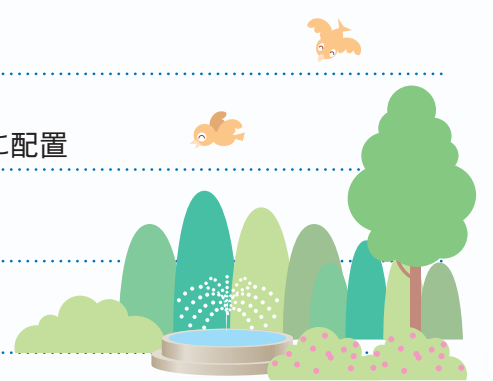
◎体育施設条例の一部改正(全員賛成)

名称の変更や使用料の統一を図るもの

◎市道路線の認定及び廃止について(全員賛成)

都築紡績跡地の商業施設周辺の道路等整備するもの

(22ページにつづく)



議会議員 活動日誌

日	場 所	内 容
2月 3日(木)	富有柿の里	第1回本巣市計画審議会
6日(日)	土岐市文化プラザ	土岐市制50周年記念式典
	本巣市文化ホール	あしたの会フェスティバル
7日(月)		平成17年第1回もとす広域連合議会1日目
8日(火)		もとす広域連合療育医療衛生常任委員会
		もとす広域連合老人福祉常任委員会
9日(水)		もとす広域連合総務介護常任委員会
	糸貫分庁舎	4農業委員会統合による新しい委員会の設置にかかる検討会
10日(木)		平成17年第1回もとす広域連合議会2日目
	真正分庁舎	第2回本巣市障がい者計画策定委員会
11日(金)	岐阜市民会館	建国記念の日奉祝式典
13日(日)	中津川文化会館ホール	中津川市合併記念式典
16日(水)	糸貫めぐもりの里	本巣市青少年育成市民会議役員会
	本巣公民館	本巣市国民健康保険運営協議会
17日(木)		産業建設常任委員会協議会
20日(日)	糸貫めぐもりの里	本巣市青少年育成市民会議設立総会
21日(月)	根尾文化センター	第5回もとす郡森林組合通常総代会
22日(火)		環境福祉常任委員会協議会
23日(水)	糸貫めぐもりの里	(社)本巣市シルバー人材センター設立総会
		愛知県佐屋町議会(総務委員会)行政視察(来庁)
	本巣すこやかセンター	第5回本巣地域情報化計画検討委員会
24日(木)		議会全員協議会
25日(金)		例月出納検査
28日(月)	真正分庁舎	次世代地域行動計画策定委員会
3月 1日(火)		議会運営委員会
4日(金)		産業建設常任委員会協議会
6日(日)	糸貫めぐもりの里	平成16年度糸貫ことぶき大学開講式
8日(火)		平成17年第1回本巣市議会定例会1日目
		議会運営委員会
10日(木)		議会全員協議会
11日(金)	各4中学校	卒業式
12日(土)	真正体育センター	平成16年度本巣市スポーツ少年団合同卒入団式
14日(月)		平成17年第1回本巣市議会定例会2日目
		議会運営委員会

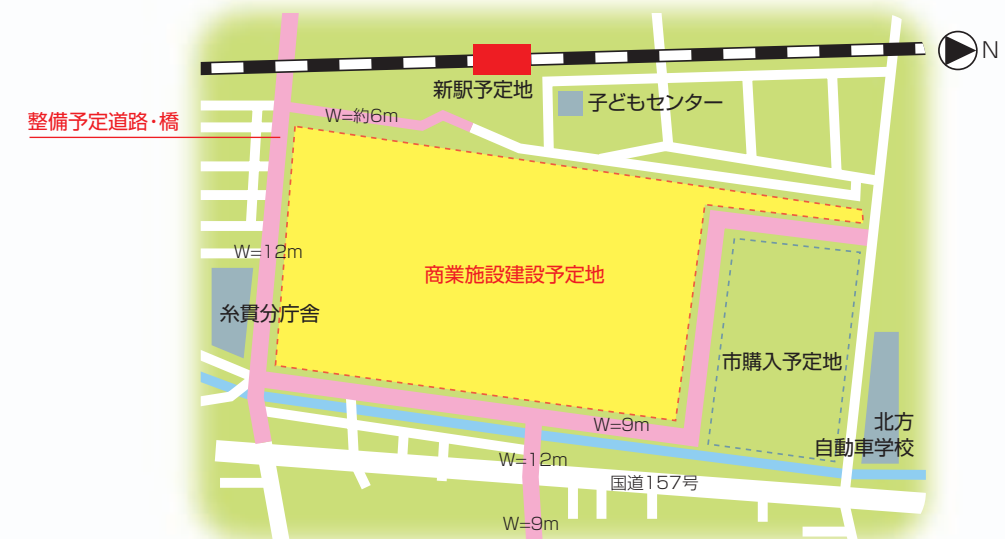
日	場 所	内 容
3月15日(火)		平成17年第1回本巣市議会定例会3日目
		議会運営委員会
16日(水)		平成17年第1回本巣市議会定例会4日目
17日(木)		総務常任委員会
	富有柿の里	本巣市水田農業推進協議会
18日(金)	真正分庁舎	環境福祉常任委員会
19日(土)	本庁舎前	早春淡墨浪漫ウォーク出発式(浪漫ウォークは19日、20日両日開催)
	美濃加茂市中央体育館	東海環状自動車道及び伊勢湾岸自動車道開通祝賀会
20日(日)	本郷物部神社	真桑文楽
22日(火)	真正分庁舎	文教常任委員会
23日(水)	糸貫分庁舎	産業建設常任委員会
24日(木)	各2幼稚園・1幼稚園卒園式	卒業式
	各8小学校	卒業式
25日(金)	根尾総合支庁舎	佐賀県三瀬村行政視察(来庁)
	大和園	大和園認知症高齢者向け施設竣工式
	日当地区	国道157号日当バイパス開通式
		議会全員協議会
		議会運営委員会
		例月出納検査
27日(日)	市民文化ホール	本巣市消防団員入退団式
28日(月)	各5保育所	卒園式
	本巣すこやかセンター	本巣市土地開発公社理事会
	うすすみ温泉	カナダ デボン町訪日歓迎レセプション
29日(火)		平成17年第1回本巣市議会定例会5日目
30日(水)	岐阜市役所	岐阜地域肢体自由児母子通園施設組合議会
4月 1日(金)	糸貫めぐもりの里	特定非営利活動法人 もとす移送サービスわかば(仮称)設立総会
4日(月)	真正分庁舎	学校職員服務宣誓式
12日(火)	淡墨公園	平成17年度うすすみレセプション
20日(水)	糸貫めぐもりの里	平成17年度糸貫ことぶき大学開講式
25日(月)	海津市治水神社	岐阜県薩摩義士顕彰会
26日(火)	本巣町商工会	織部祭実行委員会
27日(水)	愛知県名古屋市長	東海市議会議長会総会
		地域交通検討特別委員会

(20ページより)

◎16年度補正予算<一般会計・特別会計・事業会計>(全員賛成)

	補正額	補正後の額
一般会計	△4億8569万円	156億9773万円
国民健康保険(事業)	△1億945万円	29億8062万円
老人保健医療	△6892万円	31億7412万円
簡易水道	△1億2022万円	8億3325万円
農業集落排水	△542万円	23億6121万円
公共下水道	△2746万円	10億7561万円
上水道事業(建設)	390万円	3億6765万円

◎都築紡績跡地の商業施設周辺整備



政治倫理要綱を制定しました。

市長・助役・収入役・議員に関する「政治倫理要綱」が今議会、各常任委員会での協議を経て決まり、4月1日に施行されました。

これは、各々が地位を利用して自己及び特定の者の利益を不当に図らないようにすることが目的で、次の6項目の政治倫理基準(第2条)を定めています。

- (1) 不正の疑いをもたれる金品を授受しないこと。
- (2) 政治的・道義的批判を受けるおそれのある企業・団体から寄付を受けないこと。
- (3) 市等の許認可・請負に関し、特定の企業・団体のために関与しないこと。
- (4) 市等に請負を行う企業の役員に就任することは自粛すること。
- (5) 建設工事関係業界団体・市から補助金を受けている団体の役員に就任することは自粛すること。(市が出資する法人、公共的団体を除く。)
- (6) 市等の職員採用に関し、その地位を不当に利用しないこと。